



# フィルハーモニッシャー・コール 第2回 演奏会

## プッチーニ 若き日の傑作

*Giacomo Puccini*

### 4声のミサ曲 (グローリア・ミサ)

*Messa a 4 voci con orchestra*

聖パオリーノのためのモテット

*Mottetto per San Paolino*

交響的奇想曲

*Capriccio Sinfonico*

指揮 井崎 正浩

テノール 望月 哲也 / バリトン 大沼 徹

管弦楽 パイオニア交響楽団 / 合唱 フィルハーモニッシャー・コール

合唱指揮 吉川 貴洋

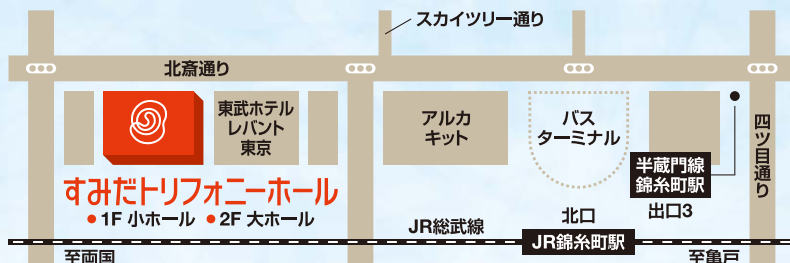
2018.

4/21  
土

14:00開演 / 13:30開場(終演予定16:00)

すみだトリフォニーホール 大ホール (下図参照)

Ticket S席:3,000円 A席:2,000円 学生席:1,000円(全席指定席)



チケット取り扱い

チケットぴあ ☎0570-02-9999 Pコード:103-023  
すみだトリフォニーホール窓口 ☎03-5608-1212

お問い合わせ

フィルハーモニッシャー・コール 事務局 ☎03-3709-5952  
メール:contact@ph-chor.com

※未就学児の入場はお断りしております。  
どうぞご理解の上、ご協力をお願いいたします。

JR総武線・東京メトロ半蔵門線「錦糸町」駅下車徒歩5分



# 演奏曲のご案内

今回は、ジャコモ・プッチーニ(1858年～1924年)がオペラ作曲家として認められる前の黎明期に作曲された3曲をお届けします。まず、バリトンの独唱を伴う「聖パオリーノのためのモテット」は、彼の生地ルッカ(イタリア)のパッチーニ音楽院(現在のボッケーリニ音楽学校)時代、20歳(1878年)の時に書かれた曲で彼が成功をおさめた最初の曲の一つです。そしてこの2年後の卒業作品として作曲されたのが今回の演奏会の主演目の「4声のみさ曲(グローリア・ミサ)」で、テノールとバリトンの独唱に管弦楽と合唱で演奏されます。音楽院を卒業すると、オペラの勉強のために王立ミラノ音楽院(現在のヴェルディ音楽院)へ入学します。その卒業作品が1883年に作曲された管弦楽曲「交響的奇想曲」です。これらの曲の一部は後のオペラの中に用いられたものもあり、この後作曲される、「ラ・ボエーム」「トスカ」「蝶々夫人」などのオペラに思いをはせながら聴かれるのもよいのではないのでしょうか。



## 指揮 井崎 正浩

MASAHIRO IZAKI

95年ブダペスト国際指揮者コンクール優勝。ハンガリーの国立オペレッタ劇場、国立響、国立歌劇場管等を指揮。98年ザヴァリア響の芸術監督兼常任指揮者就任、ハンガリー国立歌劇場デビュー。2000年ブダペスト・ニューイヤーコンサートを指揮。ロシア・ナショナル管弦楽団、ベルリン交響楽団、デュッセルドルフ交響楽団、読響、日フィル、東フィル、東響、東京シティ、九響等と共演。新国立劇場等のオペラでも手腕を発揮。ハンガリー・ソルノク市音楽総監督。09年ソルノク市立交響楽団の来日公演を成功させた。12年ロシア・ナショナル管弦楽団で客演指揮者としてモスクワデビュー。15年文化功労者に与えられる“カボシヴァーリ・ジュラ賞”、同年、現在民間人に送られる勲章の最上級勲位のひとつである“金十字功労勲章”を授与。



## テノール 望月 哲也

TETSUYA MOCHIZUKI

東京藝術大学卒業。同大学院オペラ科修了。安宅賞、松田トシ賞、NTTドコモ賞受賞。二期会オペラスタジオ修了。最優秀賞および川崎静子賞受賞。第11回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位入賞。第70回日本音楽コンクールオペラ部門第2位入賞。文化庁海外派遣研修員として、ウィーンに留学。これまでに多数のオペラに出演、「魔笛」タミーノ役でヨーロッパデビューを果たす。宗教曲のレパートリーも多く、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」のエヴァンゲリストをはじめ、約40作品のレパートリーを有する。二期会会員。大阪音楽大学特任准教授。国立音楽大学、聖徳大学講師。



## バリトン 大沼 徹

TORU ONUMA

東海大学大学院修了。ベルリン・フンボルト大学に留学。二期会ニューウェーブオペラ「ウリッセの帰還」ウリッセ役にて二期会デビュー。第14回日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第1位。第75回日本音楽コンクール(歌曲部門)入選。二期会オペラ研修所第51期マスタークラス修了時に最優秀賞及び川崎静子賞受賞。第21回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。二期会会員。東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。

## 管弦楽 パイオニア交響楽団

PIONEER SYMPHONY ORCHESTRA

パイオニア交響楽団(略称PSO)は、1992年にパイオニア株式会社の社員を中心にその家族や友人などで結成したアマチュアオーケストラです。パイオニア株式会社の企業理念である「より多くの人と、感動を」に「楽しく」を加えてPSOの理念とし、それに共感した団員が集い活動しています。創立以来優れた指揮者の皆様に指導をいただき、楽しければよいオーケストラから、音楽性を向上することに幸福感を感じる集団に変貌してきたと感じています。「お客様の熱気がステージに伝わり、そのパワーが演奏者の力になってホール全体が感動で包まれる」・・・そんな演奏会をいつもめざしている音楽をこよなく愛する集団です。ご期待ください。

## 合唱 フィルハーモニッシャー・コール

PHILHARMONISCHER CHOR

フィルハーモニッシャー・コール(略称:PHC)は、「音楽を愛する人の合唱団」を意味する。1995年から20年間にわたり演奏活動を行ってきたパイオニア合唱団の精神を引き継ぎ2016年1月より本格的な活動を開始。オーケストラと共演する演奏会の開催を目指す自主運営の混声合唱団として都内で週に一度の練習に励む。2017年5月に第1回演奏会として、ラターの「マニフィカト」モーツァルトの「戴冠ミサ」を演奏し好評を博す。80余名の老若男女の仲間が古典から現代まで幅広い作曲家の作品に取り組んでいる。

フィルハーモニッシャー・コール  
ホームページ▶

